

(発行者)

上甌中学校

3年 家吉真央

3年 中尾蓮夢

2年 岩下聖也

2年 西愛麗

平成30年11月発行

知ってほしい!ユニバーサルデザインの魅力!

私たちは、地域調査で、まちのユニバーサルデザインを探しました。ユニバーサルデザインがあることで私たちの生活がどれだけ便利に、過ごしやすいになるか、「ユニバーサルデザインの魅力」についてご紹介します!!



ピクトグラムとは?
一目でわかるデザイン・絵文字



私たちのまちには至る所にピクトドラムがあります。屋内、屋外のピクトドラムを紹介します。
【ア】の写真は老人センター付近の写真です。避難所を表すピクトグラムがありました。日本語・英語・韓国語・中国語の4カ国語で「災害時の避難所」と示されています。だから、外国人や小さい子供にも避難所だということがわかります。高い位置にあるので車内からでも目につきやすいです。
【イ】の写真は、市役所付近の写真です。ピクトグラムと「津波注意」という大きな文字で高台の場所を示しています。電柱に書かれているので、車内にいる人や歩行者にもわかりやすいです。

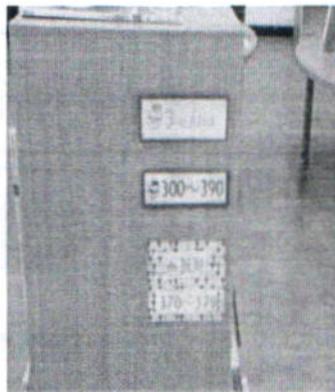
屋内のピクトグラムには役目が主に2つあります。それは、「区別しやすくするもの」と「場所を教えるもの」です。

【ウ】



【ウ】はトイレのドアのピクトグラムです。誰が使っているかが一目でわかります。多目的トイレはみんなに優しいトイレです。ピクトグラムがあることで、日本語のわからない外国人にもわかりやすいです。

【エ】



【エ】は上甌町図書館内の写真です。本棚の側面にはどこにどのジャンルの本があるのかを知らせるピクトグラムがあります。低い位置にあるので、小さい子供も探しやすいです。

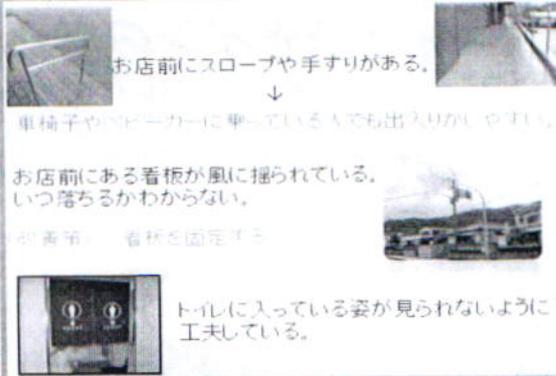
【エ】では4つの例をあげました。ピクトグラムがあることで、子供、大人、外国人などにかかわらず、すべての人にとってわかりやすいまちになっていきました。一方で、甌島は県外、海外からの観光客が多いにもかかわらず、観光地のピクトグラムを用いた看板が少ないです。だから、まちの中心地だけでなく、観光地のピクトグラムを用いた看板を増やすべきです。そうすることによって、この甌島をより多くの人が堪能できるのではないのでしょうか。

(中尾蓮夢・岩下聖也)

コシキテラス

スロープや手すりがあるということでは車椅子やベビーカーなどを押している人や歩行が困難な人も出入りがしやすくなる。このスロープや手すりはコシキテラス前だけでなく福祉センターなど高齢者の利用が多い場所に見られている。

甑島は高齢化が進んでいるのでもっと高齢者や障害者など、島民



お店前にスロープや手すりがある。

車椅子やベビーカーに乗っている人でも出入りがしやすい。

お店前にある看板が風に揺られている。いつ落ちるかわからない。

が看板 看板を固定する

トイレに入っている姿が見られないように工夫している。

私たちは、市役所の方に意見を出すことなどしかできないが、甑島のためにできることを精一杯頑張っていきたい。
(西愛麗)



多目的トイレ TOILET



に優しい場所が増えてみんなが安心して暮らすことができるといういなと思っ

た。

例えば、図書館にスロープや手すりを設置することで高齢者の出入りがしやすくなり、利用者が増えると思っ

実はここにも！？ ユニバーサルデザイン

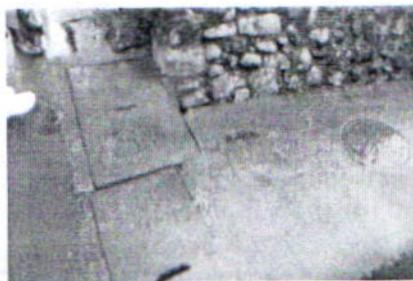
年齢や性別、国籍、体の特徴にかかわらず、誰にでも使いやすいデザインのこと

そもそも「ユニバーサルデザイン」って何？

市立図書館上甑分館

(家吉真央)

この甑島にどんな課題があるのかを伝えたりしていきたい。



図書館で見つけたのは子供やお年寄りへの配慮。特にケガの防止が重視されていることに気がついた(右資料)。一方、調査をする中で道路の状態がよくない、図書館に靴箱がないなどの問題点も見つかった。誰もが住みやすい町にするにはまだまだ課題がありそう。

「工夫されている点」

- 子供、お年寄りの方も使いやすい
- 事故(ケガ)の防止

「問題点」

- 靴が履かかっている児童が思い、気分を害する人も...
- 雨の日は置いている靴、傘が濡れる。
- 図書館に入るまでに足が汚れる、濡れる。

「改善するために」

- 靴箱、傘立てを設置する。(外ではなく、図書館内に設置すればより良い)

地域調査の際に意識したのは「お年寄り、小さな子供の目線で見ること。普段とは違う目線で見ること。誰のためにどんな工夫がされているか」「どこを改善すればより過ごしやすい町になるのか」を考え、見つけることができた。